

様式第7号(第7条関係)

公の施設事業報告書

令和8年5月31日

下妻市長 様

所在地 茨城県下妻市数須 140 番地

名 称 株式会社

代表者氏名 須藤

電話番号 0296-30-5

下妻市公の施設に係る指定管理者の指定手続き等に関する条例第11条の規定により、次のとおり令和7年度事業報告を提出します。

1、公の施設の名称

道の駅しもつま

2、管理業務の実施状況

別紙参照願います。

3、利用状況

別紙参照願います。

4、使用料又は利用料金の収集実態

別紙参照願います。

5、管理経費の収支状況

別紙参照願います。

2、管理業務の実施状況(全体)

日本各地にある道の駅においては、物価高騰の長期化に伴う仕入価格や光熱費の上昇に加え、人手不足、異常気象の影響もあり農作物の不足や令和の米騒動等もあり、食品販売店や飲食店、私達消費者にも厳しい環境が続いた一年でした。一方で、道の駅ブームもあり観光需要や地域産品への関心の高まりを背景に、地域の魅力発信拠点として、更なるサービス向上や誘客促進への取組が求められております。当駅、農産物直売コーナーでは下妻産新鮮野菜や旬の果物の確保に努め、物産コーナーでは小旅行を楽しむ方には品揃え、話題性と買いやすい価格帯、お買得品セット販売にも注力いたしました。また、パンや料理等は価格据え置き商品と「こだわり商品」との価格のバランスを考え値上や原価の見直しを常に考えながらの一年となりました。また、9月・11月にかけて人気テレビ番組コーナーにも当駅がロケ地として選ばれ放映直後は来場者数や売上高も増加となりました。当駅の取組として話題性、企画力、発想力、日々研究心と何事にもチャレンジ精神を持ち「やらないで後悔するより、やってみてから判断する」という意識改革にも取り組み、特に落ち込んだ月があれば翌月あるいは四半期内に取り返すよう従業員一丸となり「各月のイベント」を軸に考え成功した事例も多く達成感を味わえる職場に年々変わってきております。今年度の総売上高は、過去最高額9億7,237万円となり前年対比11.3%増、来場者数1.0%とプラス成長を確保いたしました。しかし、価格高騰・人件費・光熱費・設備の経年劣化に伴い修理修繕費の増加やキャッシュレス決済の普及に伴い手数料負担も経営を圧迫しております。今年度は下妻市役所へ売上割戻金の支払いについては免除していただいております。

主な取組として

- ① 物価高騰により各売場2回～3回程度、価格の値上を実施いたしました。
- ② 売上低迷期には新聞折込広告と情報誌掲載の2本立てを行い集客に努めました。
- ③ 各部門、マンネリ化防止のため更なる献立開発、新商品販売にも挑戦いたしました。
- ④ テレビ放映 9月中旬・・・TBS番組「Nスタ」 9月下旬・・・フジテレビ「ノンストップ」
11月上旬・・・日本テレビ「笑ってこらえて・全国道の駅伝リレー」等、放映後は利用者増となり賑わいました。

施設全体前年対比 単位:千円

前年対比	前年度(R6)	今年度(R7)	対比	対比率
施設全体売上高	873,672	972,376	98,703	11.3%

各部門の状況について

【農産物直売所】

主な取組について

- ① 猛暑の影響により野菜類の物量不足が発生し市内市外問わず個人、農業団体との取引強化を実施いたしました。
- ② 春は「メロン」や「小玉スイカ」、秋には「貯蔵梨」等を店頭にて JA 千代川支店及び市の職員の皆さまによる試食販売会等を開催され下妻産果物の PR 拠点として活用していただきました。
- ③ 夏季期間「梨の販売」に備え JA 常総ひかり担当者と事前打合せを繰り返し、結果として前年度に比べ販売数量の確保により消費者に下妻産「梨」の美味しさを伝えることができました。
- ④ 米不足の影響が5月中旬から8月下旬まで続きその間はお米の問合せが多く下妻産米の人気が高いことを実感いたしました。新米シーズンから安定供給が出来ました。

前年対比（単位:千円）

	前年度(R6)	今年度(R7)	対比	対比率
売上高	341,803	338,556	-3,247	-0.9%

【物産コンビニ】

主な取組について

- ① ゲスト日本酒やビール、漬物、ご当地ドレッシング、箱菓子類、芋関連商品を展開いたしました。また、ミニフェアとして「漬物対決フェア」・「高知県フェア」・「焼肉のタレ」・「ご当地チップス」他、様々なフェアを開催しております。
- ② 通年販売として、ギフト品の展示する他、レジカウンターでは箱やラッピング等を展示することにより贈答品として利用も多くなりました。

前年対比（単位:千円）

	前年度(R6)	今年度(R7)	対比	対比率
売上高	172,492	179,210	6,718	3.9%

【BAKERY しもんぱん】

主な取組について

- ① 材料高騰に伴い値上をする一方、生活応援として「月2回・特売日」をパンの日として実施いたしました。「毎月恒例の第2水曜日」にプラスして「毎月第3水曜日」も開催いたしました。
- ② 夏場は売上低迷期のため「生絞りモンブラン」に「夏季限定・マロングラッセアイス」を加えた商品販売の他、爽やかな味わいの「梨のスムージー」が人気となりました。
- ③ カスミ「ブランデ」から依頼を受け2店舗で約2ヵ月間、パン販売を実施いたしました。

前年対比（単位:千円）

	前年度(R6)	今年度(R7)	対比	対比率
売上高	119,565	132,739	13,174	11.0%

【お食事処しもん亭】

主な取組について

- ① 食材高騰により販売価格の値上を実施いたしました。
- ② 納豆料理を改め新作納豆定食を2種類販売したところ大変高評価をいただいております。
(納豆3種定食から販売スタート、その後に納豆4種定食を販売しております)
- ③ 季節商品として、「お節料理」、「恵方巻の実演販売」、「鰻」、「新蕎麦と握り寿司のセット」等、販売したところ手応えを感じ来年度に活かしたいと考えております。

前年対比 (単位:千円)

	前年度(R6)	今年度(R7)	対比額(件数)	対比率
売上高	71,106	73,134	2,028	2.9%

【そば打ちめいじん亭】

主な取組について

- ① 食材高騰により販売価格の値上を実施いたしました。
- ② 店内での季節献立料理や弁当惣菜類も手の込んだ商品を提供しております。
弁当・総菜類追加販売については女性スタッフが中心となり売上増加と達成感が味わえた一年となりました。
- ③ 新そばフェアは昨年よりバージョンアップと天候に恵まれ売上好調となりました。

前年対比 (単位:千円)

	前年度(R6)	今年度(R7)	対比額(件数)	対比率
売上高	71,115	81,588	10,472	14.7%

【下妻納豆】

主な取組について

- ① 納豆の詰め放題イベントは話題性も高く毎月1回月末市に開催しております。
- ② 当社イベント開催時、納豆セット販売、特売、試食販売会を常を実施しております。
- ③ 当駅以外の県内の道の駅や東京有楽町にある茨城県アンテナショップ等で当駅の納豆が放映されるとその都度、問い合わせや宅配便等でお買い求めされる方がおりテレビ効果に感謝しております。
- ④ 年度末に下妻市役所の予算から納豆専用の冷蔵庫を増設していただいております。今後はより多く製造・保管・販売が可能となり来年度も売上高の記録更新に期待が出来ます。

前年対比 (単位:千円)

	前年度(R6)	今年度(R7)	対比	対比率
売上高	68,631	75,311	6,679	9.7%

【宝くじ売場】※手数料収入（宝くじ売場総売上 173,793 千円）

主な取組について

- ① ジャンボ宝くじ発売初日(サマージャンボ・年末ジャンボ)には大宝八幡宮の宮司様をお招きし「当選祈願祭」年2回実施しております。
- ② 縁起の良い日(天赦日・一粒万倍日・虎の日・大安)には、館内放送を活用し「運氣アップの日」であることや過去の大口当選等、定期的に館内放送して購買意欲を高めております。

前年対比（単位:千円）

	前年度(R6)	今年度(R7)	対比額(件数)	対比率
売上高	8,023	7,447	-575	-7.2%

【地域未来推進室】

主な取組について

- ① 下妻市内に眠っている特産品を掘り起こし「ふるさと納税返礼品への登録」、「道の駅しもつまで販売」地域ブランドとしての確立を目指しております。
- ② 「ふるさと納税返礼品登録」として、直接事業者、個人店へ出向き登録作業のサポート活動及び商品開発等にも取組んでおります。

※ 新部門として2年が経過し納税額は確実に増やしておりますが全国には競合市町村も多く課題や反省点、毎年総務省からルール改正もあり今後の進め方について市と協議をしながら下妻市の発展のために努力してまいります。

前年対比（単位:千円）

	前年度(R6)	今年度(R7)	対比額	対比率
売上高	16,333	79,840	63,506	388.8%

3、利用状況及

店舗別の利用者数

	令和7年度
農産物直売	203,314 件
物産コンビニ	154,073 件
BAKERY	133,296 件
しもん亭	52,756 券
そば打ち	49,108 人
宝くじ	60,251 件
シモンズ	7,517 件
下妻食堂陽陽	68,685 券
総合計	729,000 件

4、使用料又は利用料金の収集実態

会議室が「地域未来推進室事務所」となっており利用件数は0件となります。

5、管理経費の収支状況

	項 目	金額
収入	道の駅売上高・収入合計(A)	972,376,596
支出	売上原価(B)	570,236,816
	販売費および一般管理費(C)	391,986,263
	人件費	238,891,053
	販売員旅費	793,692
	広告宣伝費	8,103,030
	発送配達費	19,711,355
	支払手数料	19,823,637
	リース料	5,663,048
	減価償却費	4,524,133
	地代家賃	145,000
	修繕費	11,425,487
	通信費	1,730,159
	水道光熱費	23,210,020
	租税公課	435,858
	寄付金	105,840
	接待交際費	899,881
	保険料	1,928,380
	備品・消耗品費	26,739,013
	管理諸費	17,397,221
	研修会議費	88,948
	車輛燃料費	1,127,394
	貸倒償却	427,100
	車輛修繕費	607,391
	委託警備費	619,320
	委託清掃費	7,505,575
	雑費	84,001
	支出合計 (B)+(C)=(D)	962,223,079
	収 支 (A)-(D)=(E)	10,153,517
	営業外収益 (F)	19,950,137
	営業外費用 (G)	77,423
	経常利益 (E)+(F)-(G)	30,026,231
	固定資産除却損	3
	法人税	8,456,600
	当期純利益	21,569,628